

日付	JIS番号：発効年 規格名称	件名	問合せ内容	回答
2014.12.3	B1180:2014 六角 ボルト	六角ボルトにおける部品等級ごとの 製品仕様での強度区分について	<p>(1)JIS B 1180:2014において、表9-呼び径六角ボルト-並目ねじ-部品等級Cの製品仕様の機械的性質における強度区分a)の$d \leq 39\text{mm}$では4.6及び4.8のみが規定されています。しかし、同表最下段に注a)として「他の強度区分は、JIS B 1051による。」が規定されていることにより、例えば強度区分8.8は、表9の$d \leq 39\text{mm}$においてJISの対象となる強度区分であると判断します。</p> <p>(2)また、同様に同JISの表5-呼び径六角ボルト-並目ねじ-部品等級A及びBの製品仕様の機械的性質における強度区分a)の$3\text{mm} \leq d \leq 39\text{mm}$では5.6、8.8、10.9が規定されていますが、4.6、4.8は、JISの対象となる強度区分であると判断します。</p> <p>他にも同様な事例が記載された表はありますが、考え方は同様であると考え、上記2点についてよろしいか伺います。</p>	<p>(1)表9についての回答： JIS対象製品になりません。 表9は、部品等級Cの製品仕様における機械的性質－強度区分a)の$d \leq 39\text{mm}$では強度区分を4.6及び4.8に限定している。これは、部品等級A及びBの製品に比べて製品寸法の精度が悪い（寸法許容差が大きい）部品等級Cにあっては低い強度（4.6及び4.8）にだけ適用できるということです。 注a)の意味は、4.6、4.8以外の強度区分（5.6、5.8、6.8、8.8、9.8、10.9、12.9/12.9）がJIS B 1051に記述があるということ参考として示したものです。</p> <p>(2)表5についての回答： JIS対象製品になりません。 表5は、部品等級A及びBの製品仕様における機械的性質－強度区分a)の$3\text{mm} \leq d \leq 39\text{mm}$では強度区分を5.6、8.8及び10.9に限定している。これは、製品寸法の精度が良い（寸法許容差が小さい）部品等級A及びBの製品では高い強度（5.6、8.8、9.8及び10.9）に適用できるということです。 注a)の意味は、5.6、8.8、9.8、10.9以外の強度区分（4.6、4.8、5.8、6.8、12.9/12.9）がJIS B 1051に記述があるということ参考として示したものです。 なお、JIS B 1180 表5 鋼 の強度区分で、“9.8”が、対応国際規格（ISO 4014:2011）と比較して欠落しているため、正誤票を発行し、追加します。</p>